



みどりの里

宇奈月小学校だより
6月号・第3号
令和7年6月2日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1

URL <http://www.tym.e.ed.jp/>

TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

子供同士のかけ声が、大きな力となる

～わんぱく相撲名水場所のための朝練習より～

校長 齊 木 裕

6月8日（日）にわんぱく相撲名水場所があることを全校に知らせると、男女11名の申し込みがありました。この名水場所に向け、宇奈月町相撲協会が伝統的に指導してくださっています。今年度も、快く引き受けてくださり、5月20日（火）から3週間練習することになりました。練習場所は鶏野神社相撲場です。また、練習に先立ち、子供たちのために相撲場を整備してくださいました。

朝7時から相撲の練習が始まっています。四股の踏み方、すり足の仕方、股割りの仕方、ぶつかり稽古等を丁寧に教えてもらっています。子供同士の対戦が始まると、自然に子供たちのかけ声が出ています。

「もっと、腰を低くして、ぶつかれ」

「まわしをしっかりとつかめ」

「頭を相手につけろ」

「すり足で相手を押せ」

「押されているぞ、まわりこめ」

「脇があいているぞ、脇をしめろ」

友達から声をかけられると、動きの変化が見て分かります。取組を見ている

子供のかけ声は、大きな力となっています。また、技術面だけでなく、マナー面についてのかけ声も聞かれます。

「土俵にあがるときは、大きな声を出せ」

「土俵にあがるときは、俵を踏まない」

「負けても、挨拶は、しっかりしよう」

などです。昨年度の経験者が中心となって、いろいろな面でアドバイスしているのが素晴らしいと感じています。

子供たちは、このようなことを感じているようです。



- 相撲をする仲間としての絆が深まっている。
- 先輩のように相撲が上手になりたいという気持ちが高まっている。
- 仲間ですること、やりがいや楽しさを感じている。
- スポーツマンシップ（マナーや礼儀）を学んでいる。

これらは、学級でも同じだと思います。友達からアドバイスをもらって、より理解が深まるように感じます。「子供同士の対話」を今年度の研修主題に入れています。そして、主体的に学ぶ子供を育てていきたいと考えています。

6月8日のわんぱく相撲名水場所では、「チーム宇奈月」として活躍することを期待しています。

花とみどりの少年団活動



5年生が「花とみどりの少年団」に入団し、自然を守り育てる活動をしています。結団式のとき、青少年育成黒部市民会議下立支部の森下さんから「森の働き」について話を聞きました。自然を大切にしていこうとする気持ちが高まりました。5月14日（水）には、イワナの放流をしました。黒部川内水面漁業協同組合下立支部、青少年育成黒部市民会議下立支部の皆さんに協力していただき、舟子川の上流で、イワナ400匹を放流しました。最初は、子供たちはイワナに触るのをためらっていましたが、慣れてくると、優しくイワナを放していました。その後、森林の観察をし、山菜採りも行いました。

6年ぶりの連合体育大会



6年ぶりに宮野運動公園陸上競技場で連合体育大会を行いました。5・6年生は、この連合体育大会のために、連休明けから体育の時間や放課後の練習を熱心に行っていました。他校の子供たちと競うことは初めてでしたが、とてもよい刺激を受けたと思います。連合体育大会の運営には、多くの方々に関わっていただきました。ありがとうございました。

生活科「1年生となかよくろう集会」（1・2年生）

2年生が企画した「1年生となかよくろう集会」がありました。「ロンドン橋落ちた」やあさがおの種のプレゼント等を行いました。集会は、とても工夫されていて、2年生の成長を感じました。1年生は、プレゼントを大事に持ち帰りました。



クラブ活動開始（４～６年）



スポーツクラブ



屋内スポーツ



ボードゲーム



折り紙・クラフト



茶道



編み物



サイエンス

５月２６日（月）にクラブ活動が本格的に始まりました。４～６年生が自分の興味のあるものを選んで、７つのクラブに分かれて活動しています。茶道クラブと編み物クラブは、地域の方々にも指導していただいています。１・２学期に５回行う予定です。どのクラブも異学年交流をしながら、楽しんで活動しています。

租税教室（５月２１日 ６年生）



社会科の学習の一環として、租税教室を行いました。税理士の中島さんを講師にお招きし、「わたしたちのくらしと税金」について話をしてもらいました。税金がないと困ることを分かりやすく説明をしていただき、どのような種類の税金があるのかを教えてもらいました。最後に、１億円の重さを実感しました。

かを教えてもらいました。最後に、１億円の重さを実感しました。

《第1回学校運営協議会（5月9日）を開催しました》

【令和7年度の学校運営協議会の皆様】会長・副会長以外は50音順

	氏 名	所属団体・役職名等
会長	竹山 繁夫	内山自治振興会長・内山安全パトロール隊長
副会長	森下 泰行	宇奈月小学校後援会副会長・青少年育成黒部市民会議下立支部
	上野 岳昭	宇奈月小学校PTA会長
	大橋 朋子	人権擁護委員
	岡田 千春	浦山公民館主事
	岡田 常男	浦山自治振興会長・浦山安全パトロール隊長
	河田 稔	宇奈月温泉自治振興会長・宇奈月温泉安全パトロール隊長
	佐々木 俊一	音沢自治振興会長
	中 佳美	放課後児童クラブ指導者代表
	橋口 健児	愛本自治振興会長
	百石 富士雄	児童民生委員・主任児童委員
	齊木 裕	宇奈月小学校長



学校からは、今年度の学校運営ビジョンやアクションプランについて説明をし、委員の皆様から学校運営について様々なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

（協議内容）

○学習参観から

- 上野 音楽の授業を参観したが、音楽室とランチルームが一緒になっているのがよかった。
- 大橋 1年生から6年生まで観ると、発達段階が分かる。
- 岡田常 入学して1ヶ月なのに、1年生が統率がとれている。
- 佐々木 参観していると、子供が少なくなったと感じる。地域の問題として考える必要がある。
- 橋口 子供たちが、とても明るいと感じた。

○アクションプラン3（ゲームやメディアとの付き合い方）について

- 岡田千 公民館に遊びに来る子供の中には、スマホを持っている子もいる。親と連絡をとるためやGPSが付いているため、親が持たせていることも考えられる。
- 大橋 スマホは、便利な反面、犯罪に巻き込まれることがある。スマホ教室も、中学生からではなく、小学生からするのが望ましい。
- 佐々木 スマホは、だめだが、キッズ携帯だと機能が制限され、持たせてもよいと思う。ニュースで小六が、ゲームにはまり大きなお金を課金したと見た。親向けの勉強会は必要だと思う。
- 竹山 スマホは、学校に持ってきてもよいのか。学校の方針があるのではないか。
- 校長 原則持ち込みはしない。しかし特別な理由がある場合は、認める。
- 中 放課後児童クラブでは、原則祖父母のいる家庭は受け入れていない。子供同士の話から、ゲームは子供にとってなくてはならないものになっていると思う。
春休みに友達がたくさん遊びに来て、たまり場になる家があると祖父母から聞いたりすることもある。

○その他

- 校長 4月は、交通事故が多いと聞くと、子供たちの自転車の乗り方はどうか。
- 岡田常 子供たちが自転車に乗っているのは、あまり見かけない。
- 岡田千 公民館に来る子供は、自転車に乗ってくる子、歩いてくる子、車で送り迎えの子がいる。校区が広いので、自転車より祖父母の送迎が多いのではないか。
- 竹山 明峰中学校の登下校でも、車の送り迎えが多い。
- 橋口 1年生から、繰り返し交通安全について指導していく必要がある。
- 岡田常 昨日の東京の立川の事件から、子供の安全を守ることを考えなければならない。